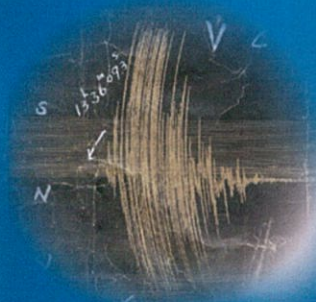


▼東南海地震の名古屋地方気象台 2倍強震計の記録



▼倒壊した半田市の中島飛行機山方工場と思われる写真
『飯田汲事教授論文選集 東海地方地震・津波災害誌』1985年より



▼『紅の血は燃ゆるー学徒労働員の記録』
読売新聞社、1971年より



▼中央気象台『極秘 昭和十九年十二月七日東
南海大地震調査概報』1945年より

極秘

昭和十九年
十二月七日 東南海大地震調査概報

▲昭和十九年十二月七日東南海大地震調査概報
中央気象台編纂
昭和十九年十二月七日
東京

▼『後井市防災史』1945年より



▲旧東京大学地震研究所建物



◀今村英明編『地震学者今村明恒遺稿集
- 自叙伝、運致日記、随筆など -』
ブックコム、2012年より



▲履宿公園 殉難学徒の碑 (半田市)



▲東南海地震被災の地の碑 (半田市)

第 26 回 特別企画展 2019年 5月 25日 (土) - 7月 13日 (土)

昭和東南海地震の真実



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

減災連携研究センター
Disaster Mitigation Research Center

昭和東南海地震には戦時下の“隠された災害”というイメージが定着しています。

しかしながら当時の人々は、さまざまな統制下でも研究者魂や測候所魂や報道者魂を忘れず、できうるかぎりの調査や活動を行っていました。我々もそのことをよく理解し、戦時下の特殊な環境のみに目を奪われることなく、それらを通して将来に向けての災害の教訓を冷静に考えてみることにしましょう。

スペシャル
ギャラリートーク
5/25 (土) 14:15 ~
減災館 1階にて
開催!

昭和
東南海地震
の震源像



武村 雅之
Masayuki Takemura

震度分布
と被害数

武村 雅之
Masayuki Takemura



◀評価された東南海地震の震度分布と震源域

山中 佳子
Yoshiko Yamanaka

東南海地震
の
学術調査



武村 雅之
Masayuki Takemura

軍需工場における
地震・空襲と慰霊

宮尾 浩一
Hirokazu Miyao

愛知県の郷土資料
が語る被害

都築 充雄
Mitsuo Tsuzuki

紅の血は燃ゆる



〒464-8601
名古屋市千種区不老町
Phone 052-789-3468
開館時間 13:00 ~ 16:00
(入場は15:30まで)

休館日 日・月曜日、祝日、第2・4火曜日

※行事等により上記以外で急速閉館になる場合がございます

※最新の情報は下記 URL でご確認ください

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>

宮村攝三先生
と武村 (右)
1991年
ベルリン自由大学で

第三菱風寮敷地にある「殉職碑」▶

東南海地震の記載のある
市区町村の概略位置▶